

議題及び審議の内容

1. 議事

(1) 次世代育成支援地域行動計画の実施状況について（報告）

（こども応援課より説明）

次世代育成支援地域行動計画の令和5年度実施状況について説明した。

議長：意見等あればお願いします。

委員：No. 61 地域人材活用による教育支援の充実事業の内容を詳しく聞きたい。

委員：車いす体験や高齢者体験といった福祉体験や、昔遊びを指すのではないか。従来は学校が直接PTA等に呼びかけていたが、現在は学校と地域の橋渡しとしてのコーディネーターがいるため、そのコーディネーターがボランティアを募集し、学校教育をサポートしている。

委員：その内容に限るならば、指標項目の「学力アップ地域人材活用事業」という表現でよいのか。

委員：確かに「教育支援の充実」に対し、なぜ学力アップに限るのか、違和感がある。

事務局：地域の人材をうまく授業に取り入れ、その結果学力アップにつなげるという考えがある。

議長：学力アップという表現に限らず、総合的な学習の力、などの生きる力に重点を置いた表現方法もよいのではないか。

事務局：検討する。

委員：No. 42 恵子児童館子ども祭りの開催について、今年度は5月25日土曜日に10:30から16:00まで開催し、児童1,100人、その保護者300人の来場があった。そこにボランティアや各団体のスタッフが加わり、大勢の来場者があったことを報告する。当日はこどもの権利条例のチラシを配布している。

委員：実施状況の欄に「こどもたちが人権を大切にすることを考え」という表現があるが、そこに違和感がある。当然、こどもたちが人権を大切にすることは大事なことだが、こどもの権利条例の中でのこどもの立場は、人権を大切にされる側なのではないか。その視点が、この実施状況の表現に抜けているように感じる。こどもの権利条例の中身である、あなたたちは大切にされる存在なのだ、ということをもっとこどもたちに広め、知ってもらう必要がある。

委員：宗像市では、学校の授業でこどもの権利条例を扱っているため、98%の児童がこどもの権利条例を知っていると回答した、というアンケート結果がある。あなたたちにも人権があるのだから、人を大事にすると同時に自分自身も大事にしてよいのだ、ということをしちんとこどもたちに教育をしていくことが大切なのではないか。

議長：大人が、こどもの人権と大人の人権を一緒に積み上げていくべきである。

(2) (仮称) こどもにやさしいまちづくり行動計画アンケート調査結果について
(報告)

(こども応援課より説明)

こどもにやさしいまちづくり行動計画アンケート調査結果について、調査対象別に、回収率や主だった内容について説明した。

議長：質問等ございますか。

委員：一時預かりについて、不定期の一時預かりの利用者は少ないが、利用意向は高い、とある。一時預かりはどこで預かっているのか。

事務局：市内の認可保育所で預かっております。

委員：自身も東京に住んでいた際は利用料も安かったため一時預かりをよく利用していたが、那珂川市に引っ越してきてからは一度も利用していない。理由は特に思いつかないが、土地柄、というのも関係しているのかもしれない。

委員：東京は保育者への賃金も高く、保育者の数も多い。それに対して那珂川市も含め地方では、少ない保育者数で保育をしているところが多いため、「こどもを預けるのが申し訳ない」という利用者側の心情があるのかもしれない。

委員：保育者数を増やすためには、資格を持っている人や退職した経験者に対して働きかけをすることが必要不可欠である。そしてその方々のリストも作成しておく、例えば災害時に避難所を開設した場合に、こどもたちとの関わりの中で大いに役立つのではないかと。そうすると、隠れた財産を活かすことができる。

委員：私たちが目指す「こどもにやさしいまち」が、必ずしも「子育て世帯にやさしい」わけではない、ということ念頭に置いてこどもにやさしいまちづくりを考える必要がある。子育て世帯にやさしい、は考えやすく、また実現させやすいが、それはこどもにやさしい、と直結はしない。

委員：家族のお世話をしているこども、ヤングケアラーの問題が気にかかる。学校に行きたくても行けない、宿題や勉強の時間が取れないと回答しているこどもが実際に存在する。しかし地域としても介入が難しい。本人も、周りに相談できずに困っているのではないだろうか。

議長：たしかにここは追跡していくべきである。

委員：アンケートは割合を重視しがちだが、大切なのは少数派の意見を聞き流さないこと。6割の住民が那珂川市を住みやすいと回答しているからそれでよいと受け止めるのではなく、逆に4割の住民が住みにくいと感じていることに目を向けなければならない。

事務局：回答の中にある住民の困り事を見つけ、取り組んでいく計画をつくるためのアンケートであることに注意し、今後の計画策定に活かしていく。

(閉会)